



● 夏ツバキ鑑賞お茶席

夏ツバキを愛でながらお茶席を満喫



お茶席を楽しみながら夏ツバキを鑑賞する来場者

6/28 加悦椿文化資料館において、夏ツバキの開花に合わせたお茶席が開かれ、多くの来館者が訪れました。

参加者は、庭園に咲く可憐な夏ツバキを眺めながら、お茶とお菓子を味わい、ゆったりとした時間を過ごしました。朝に咲き夕方には散る「一日花」として知られる夏ツバキの美しさを楽しみながら、初夏ならではの風情を満喫するひとときとなりました。

● ゆかたでぶらり☆ちりめん街道

初夏の夜を楽しむひととき



浴衣姿でちりめん街道を歩く来場者たち

7/4 ちりめん街道の初夏の恒例イベント「ゆかたでぶらり☆ちりめん街道」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

旧加悦町役場庁舎では、優雅なフラダンスのステージや、宮津天橋高校合唱部による美しいアカペラが披露されました。また、行灯に照らされたちりめん街道では、浴衣姿でそぞろ歩く人や、幻想的な夜のまち並みを写真に収める人の姿が見られ、初夏の風情に包まれた一夜となりました。

● 「京のスポーツ夢バンク」事業

世界で活躍するダンサーから学ぶ



ブレイクダンスに挑戦する児童たち

7/2 山田小学校において「ブレイクダンス教室」が開催され、全校児童がブレイクダンスを学びました。

本教室は、京都府の「京のスポーツ夢バンク」事業で実施されたもので、世界で活躍するプロブレイクダンスチーム「BODY CARNIVAL」から、パリ五輪ブレイキン女子日本代表の福島あゆみさんら3人のメンバーが指導。児童たちは基本の動きやステップ、ヒップターンなどを学び、最後は音楽に合わせて覚えた技をつなげて元気いっぱいに踊りました。



ブレイクダンスを披露する BODY CARNIVAL のメンバー



美しいハーモニーを響かせる宮津天橋高校合唱部の生徒たち

● 阿蘇海フェスタ

山・川・海のつながりを体感

7/19 滝の千年ツバキ公園周辺で「阿蘇海フェスタ」が開催され、家族連れなどが自然に親しみながら、山・川・海のつながりについて学びました。今回のフェスタは、「山を知ると、海をもっと好きになる」をテーマに開催。阿蘇海を守るためには、山や川を含めた流域全体の環境保全が大切であることを、体験を通して伝える内容となりました。

木こり体験や木工体験、森の役割や地球環境を学ぶプログラム、バードウォッチングなど、多彩な企画を実施。また、小川での水遊びや自然観察なども行われ、子どもたちは森の中で自然と触れ合いながら、山の豊かさが川を育み、その川が海へとつながる自然の循環を学びました。参加者は、森林の恵みや生き物との触れ合いを楽しみながら、身近な自然環境の大切さを実感し、阿蘇海の環境保全について考えるきっかけとなる一日となりました。



- ① のこぎりで木に切り込みを入れる子ども
- ② 木を倒すため、ロープを引く子どもたち
- ③ バードウォッチングを体験する親子
- ④ 親子連れに人気の小川遊び
- ⑤ 地球誕生から現在までの軌跡を体験できる「地球の道」

魚が住みやすい野田川に

— 後野地区公民館事業「第10回 川の学校」—

同フェスタに合わせて、翌20日には後野地区公民館の夏の恒例行事「第10回 川の学校」が開催されました。この行事は、子どもたちに野田川の豊かさと自然の恵みを感じてもらうことを目的としています。

子どもたちは、せき止められた野田川に入り、アユやオイカワ、アカザなどの魚捕りを体験。その後は、「楽しい野田川大作戦会議」と題した学習会で、魚が増える川にするために自分たちにできることを考え、野田川の自然の豊かさを実感する一日となりました。



せき止められた野田川に入り、アユやアカザなどの魚を捕まえる子どもたち